

－川崎幸病院主催講演会－

いま患者が望む医療とは

講師 ささえあい医療人権センターCOML辻本好子代表（編集部抜粋）

本年度の石心会グループ医療事業計画のコンセプトは「患者の視点に立った患者中心の医療」の展開です。そのコンセプトを推進するため、川崎幸病院岩井院長の発案で開催された辻本好子氏の講演内容のごく一部を抜粋してお伝えします。残念ながら講演内容の全てをご紹介するわけには行きませんが以下の内容から、感じるものがあつた方はホームページ<http://www.coml.gr.jp/>にアクセスしてより深くかわって頂きたいと思います。

〈辻本好子講師の略歴〉

「インフォームドコンセント」「患者の自己決定」の問題に患者の主体的参加の必要を痛感し1990年に設立したNPOささえあい医療人権センターCOML理事長、厚生労働省医療機関等における個人情報保護のあり方に関する検討会委員を務める。

紹介に預かりましたCOMLの辻本でございます。電話相談に届いた生の声から紹介します。

今日、頂いたテーマは「いま患者が医療に望んでいること」は何かです。相談を受ける月平均350件のお話をぎゅっと凝縮して見えてくることは患者は安全と安心だけではダメなんです納得しないと前に踏み出せないのです。だから安全と安心・納得この組み合わせが必要なんです。

〈安全について〉

1. 患者さんが自分の身を自分で守るという意識を持つように働きかける。

2. 院内コミュニケーションです。変だと思ふことをこれって変だよね、プロとしてははっきりお断りすべきと判断したときに遠慮なくノーと言ったその後、じゃあ皆でどうしようかと心を開いて話し合う。

〈患者中心の医療〉

患者さんがこの病院が在ってよかった、この病院へ来てよかった、ましてこの人に出会えて良かった、そして自分の身を自分で守る安全と安心・納得は与えられるものではない患者の私達の努力が必要です。医療者にはそれを支え、育てることが求められます。

〈インフォームドコンセント〉

1. 医療者がたくさん持っている情報、患者には持ち得ない情報の非対称性。
2. 患者のヒストリー、患者の人生、生い立ち、価値観それは患者しか持ち得ない情報です、始めて出会った医療者が直ぐに

本紙タイトル『海燕』は、M・ゴーリキーの散文詩《海燕の歌》（1901）に由来しています。その大意は以下のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。

……暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海。戸惑い騒ぐばかりの鴉らの群を尻目に、
海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。

（編集部によるダイジェスト）



その情報を理解できるはずもない、となればこの2つの情報の非対称性を互いに語り合う、そんな医療と一緒に築いていく大切さを学びました。

〈最後のエピソード〉

夫が癌のターミナルで入院している奥さんから、誰かに背中を支えて欲しいという願いを込めての電話相談がありました。繰り返しの電話がある日突然ぴたっと止まり、2ヶ月ほどしてから電話がありました。夫がお世話になった病院はとってもいい病院でした。私は思わずどういうケアやキュアがあったのか知りたくてお断りをしてお話を伺いました。

1. ホスピタリティです。奥さんの言葉をお借りすれば病院のスタッフの皆さんが私達を大切に扱ってやろうというお気持ちを伝えてくれました。例えば主治医、夜遅い時間でも僕これから返りますからと帰りがけにかならず顔を見せてくれました。奥さんが廊下を歩いていると担当でもないナースがかならずねぎらいの声を掛けてくれました。そんなことをエピソードとして一杯語ってくれました。



2. 解りやすい説明。お部屋に来て説明してくれるお医者さんや看護師さん薬剤師さんまでもが隣で聞いている私でも理解できるような解りやすい説明をしてくれました。

3. 本人や家族の希望によく耳を傾けて話を聴いてくれました。どうしたいのですか、あたりまえのことばかりです。しかし、そこに「ハットして、ホットする」プラスαが一杯潜んだエピソードを語って下さったのです。私や家族が期待もしていなかったのにハットびっくりして、ホット胸をなでおろす。残念ながらガイドラインもマニュアルありません。答えは貴方の胸の中にあると私は信じています。私達患者も感謝の気持ちを医療者へと伝えることを忘れてはいけない、だからサービスじゃないという気がします。

医療も看護もこうすれば絶対正しいという正解はありません。どうぞ皆様方が医療現場に戻れば理不尽、不条理、不合理とまた向き合わなければならないと思います。いつまでも、その不合理、不条理と誠実に悩みつづける貴方でいてください。

合理性一点張りの説明をして貴方だけが納得した、そんなインフォームドコンセントを私達患者は望んでいません。あいまいさの中に断固として足を踏み止め、それでも尚、向き合った患者さん、その人と共にという気持ちをいつまでもいつまでも大切に貴方でいて頂きたいと思います。

川崎幸病院 移転準備室設置 される

編集部

川崎幸病院の移転準備の拠点として、3月末から、すこやか薬局のほぼ真向かいにあるニチエービル 2F, 3Fに移転準備室が設けられました。

移転準備室の構成と意義は次のとおりです。

2F:

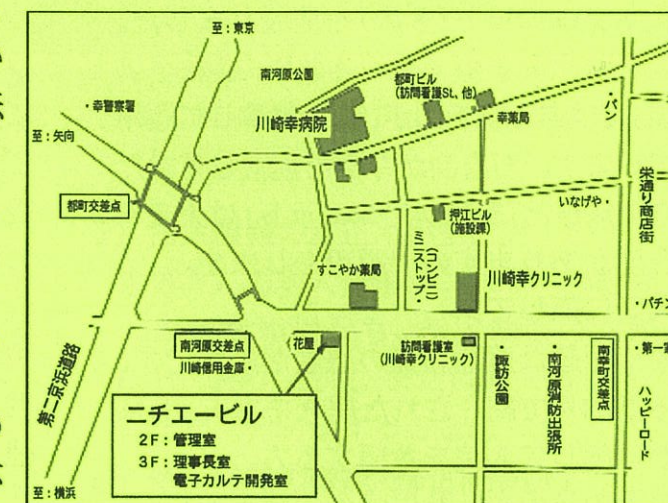
管理室のスペースを広げ、応接機能、会議機能を充実させること。

移転が近くなるにつれ、打ち合わせ等の回数が増えることを想定し、十分に対応できるスペースを設けました。又、登録医の先生方の応接もこちらで行う予定です。

3F:

理事長室と電子カルテ開発室および会議室で構成されます。理事長室は従来の本部から移転し、移転事業を陣頭指揮する体制をとる事としました。同時に、理事長秘書も3Fに移転します。

電子カルテ開発室は、移転を視野に



置いたシステム開発をおこなっていますが、より医療現場のニーズ、医療現場の声を反映させたシステム作りを行うために、現川崎幸病院に近いこのビルに移転しました。

会議室は、建築設計の打ち合わせ、川崎地区の事業所連絡会議(拡大火曜会)、リクルーター会議など各種会議に利用されます。

石心会グループ入社式 -129名参加-

編集部



4月1日から4月2日、川崎グランドホテルにおいて石心会グループの入社式、新入職員研修が行われた。各事業所から新入職員129名が集合、新入職員を代表して川崎幸病院の武藤喜子さんが「誓いの言葉」を述べた。入社式に引き続き「接遇・マナー・コミュニケーション」に関する研修が行われた。

狭山病院 緩和ケア・ユニット スタート！

緩和医療科 岡本 信也

狭山病院では3月1日から本館5階にて緩和ケアユニット(8床)を開設しました。

当科は保険診療で認可された『緩和ケア病棟』ではありませんが、これに準じて運用しています。石心会が今まで運営してきた急性期病棟と「緩和ケアユニット」は大きく違う所がありますので説明をします。

＜入院に際して＞

- ① 治癒困難な悪性腫瘍の患者が対象です。
 - ② 本誌前号で紹介された理念を本人、家族が理解して入院を希望する方。
 - ③ 患者の求めがあれば病名病状等を説明することを家族が了解すること。
 - ④ 根治的外科治療等の積極的治療を希望されない方。
 - ⑤ 状態急変時に心肺蘇生を行わないと承知されている方。以上を必須条件としました。
- 更に有料個室であることもご了承いた

だいています。

患者・家族・関係者からのお問い合わせはソーシャルワーカーを窓口としています。ご事情を伺い手続きの説明をした上で、ご希望があれば『緩和ケア相談外来』を受診していただきます。この場でご病状・ご希望・上記条件等の確認をし、引き続き入退棟判定委員会で受け入れの決定を致します。以上の運営が必要なため、例えば救急車で来院し緊急入院とか、他の病棟が満床で緩和ケアユニットに空きベッドがあるから急性期の患者を入院させる等の扱いは行いませんのでご理解ください。

近隣の病医院にご案内し、紹介件数も徐々に増えてきたところです。地域に有益な資源として認知されるように努めてまいります。ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

川崎幸病院 心臓血管撮影装置

フラットパネル搭載型に変更

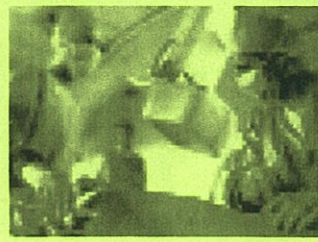
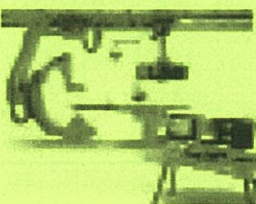
※ 放射線科 柚木園 隆 科長に編集日がインタビューしました。

平成17年4月1日稼動開始した撮影装置はフィリップス製Allura Xper FD10です。用途は心臓の血管撮影をしてカテーテルによる狭心症の治療を行います。

旧機種との違いはフラットパネル搭載により画像のひずみがなくなりより信頼性の高い画像が得られる。さらにパワーインジェクターの追加により造影剤の注入量が一定に安定し再現性が向上した。訪問した部屋は壁が全て林、天井は晴れ空のプリントでした。少しびっくりしましたが

これは良いと少し嬉しくなりました。この装置は1日8から10人を撮影、治療が可能です。今までの実績は1年間約900例の撮影、治療をしています。

1人の治療に30分から1時間かかり、人員は医師2名、CEは2から3名、放射線技師は1名。



個人情報保護法施行!!

川崎幸病院医療安全管理課 今村 壽彦

本年4月1日から「個人情報保護法」が施行されるに当たり、昨年から「個人情報保護法に関するセミナー」を数回受講すると共に、個人情報保護準備委員会を昨年12月発足させ、その後、消化器肝臓内科部長の田中医師が個人情報保護管理者(病院長命)となり正式に個人情報保護委員会が本年3月に発足しました。これにより、昨年から収集した個人情報保護法に関するノウハウを全委員で理解するため勉強会を頻繁に開催。さらに川崎幸病院、川崎幸クリニック職員に十分理解させる必要があるとの見解の基、全職員に「個人情報保護法セミナー」の受講を指示。その結果99%の職員が受講いたしました。受講後の質疑も活発に行われ職員の個人情報保護法に対する意識高揚が図られたと思います。

個人情報保護法は第1章から第6章までありますが、特に民間病院は第4章以降の条項が主となります。その中で病院が患者さんの個人情報、職員の個人情報を漏洩させないためにも下記の4つは十分留意して頂きます。

1) 患者さんの個人情報を収集する場合

診療、看護および患者さんの医療にかかわる範囲で行う事。その他の目的に個人情報を利用する場合はあらかじめ患者さんに知らせる事(例外事項あり)

2) 個人情報の利用及び提供について

患者さんの個人情報の利用については、本来の利用の目的の範囲を超えて使用

してはならない。患者さんの許可無く第三者に情報提供してはいけない。(例外事項あり)

3) 個人情報の訂正・管理について

患者さんの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、個人情報の漏洩、紛失、破壊、改竄、または個人情報へのアクセスを防止すること。

4) 個人情報の確認・修正について

患者さんの個人情報について患者さんが開示を求めた場合は、遅滞なく内容を確認し、当院の指針に従って対応する事。また訂正を求められたら調査し適切に対応する事。

全職員は個人情報保護法を遵守する事を約束しさらに「個人情報に関する誓約書」を委員会に提出致しました。

現在「個人情報法保護方針」と「個人情報の利用目的」を病院1階受付とその他掲示板に掲示し患者さんに情宣しています。

＜今後の予定＞

- ① 入院患者さん等にご理解いただくために、「入院案内」にさらにわかりやすい内容で情宣する様に内容を制作中である。
- ② 院内のあらゆる個人情報の所在を確認するため各科に協力を求め収集しました。今後、この内容を限りなく一元化するために分析中です。
- ③ 職員からの質疑に関し「質疑応答集」を各科に2冊配布予定。(5月中)

《趣味探訪》

早春の海を疾(はし)る

本部事務局長 辻田 征男

以前、本紙に「趣味はお酒」という文章を寄稿した事があったが、それだけでは読んでくれた人に誤解を与えかねないのでもう一つの趣味についても披露することにした。私が毎日、おいしくお酒を飲める体力は実は、ウィンドサーフィン(windsurfing)を中心としたマリンスポーツ(正しくはaquatic sportsというらしい)でつちかっている。おかげで、健康診断の結果は概ね良好である。ウィンドサーフィン以外では、風がなく波のあるときに、サーフィン(ロングボード)をする事があるし、週に2回はプールで泳いでいる。私がスーツ姿で勤務しているところを見ている人達は、そんな事をしているとはとても信じられないらしいが、海の仲間達は私のスーツ姿なぞ想像もつかないという(ウエットスーツは別だが)。格好よく言えば、私は二つの人生を生きているといえるかもしれない。



ウィンドサーフィンの魅力

ウィンドサーフィンを始めたのは24年前。南仏ニースの海岸で、地中海のアフリカ側から豆粒のような人影が猛スピードで海岸に近づくのを見た。瞬間、これに決めたと思った。同時に、湘南で見るウィンドサーファーとあまりに違う格好良さに「これは、きっと長いバカンスのせいに違いない」と考え、せめて、病院を週休二日制にしなければ、と思った。フランスは今でも世界で一番ウィンドサーフィンの盛んな国で、様々なコンペティションの勝者は常に国民的英雄となる。

世界のウィンドサーフィンの中心はハワイのマウイ島であるが、日本の場合は静岡県御前崎である。ハイシーズンは晩秋から冬であるが、御前崎の冬の風は秒速10m~20mで潮の流れが速く怖い海である。私は、普段は鎌倉がメインのゲレンデであるが、何年か前に冬の御前崎に遠征したとき、沖でマストが折れて、万事窮す、もうこれで人生おしまいかと思った。さいわいにも、偶然近くまで来たウィンドサーファーが声をかけてくれたのに励まされ、道具につかまって自力で海岸にたどり着く事が出来たが、命の危険と隣り合わせのスリルもこのスポーツの魅力の一つかも知れない。

ウィンドサーフィンの一般的な魅力は、水面を滑走するスピード感と開放感であり、最近、実際にスピードガンで計測した雑誌の記事によると、普段我々アマチュアのウィンドサーファーは時速40kmから50km位で海面を滑走しているらしい。水面上を

滑走する場合の体感速度は陸上の二倍と言われていて、しかも、交通信号はないのであるから、その爽快感は何物にも変えがたいものがある。特に、ハワイや沖縄の海底が白い砂地の海面では、透き通った淡いブルーの水の上を滑走していると、空を飛んでいるかのような浮遊感がある。もし、あなたがウィンドサーファーになってハワイに行く機会があるなら、ハワイを10倍楽しむことが出来ると断言できる。

ウィンドサーファーという種族

サーフィンの道具が素材の変化も少なく安価なのに比べ、ウィンドサーフィンの道具は、技術革新のテンポが早く、かつ、海のコンディションに合わせて何種類もの道具をそろえるので一般に高価である。その為かサーファーに比べウィンドサーファーの平均年齢は高く、30才代、40才代が中心であろう。

面白いのは風が強く、波が高い、いわゆるハードコンディションになると海に出ている人の年齢層が高くなることであり、上達に時間がかかる事を物語っている。スキーやゴルフと同様、ウィンドサーフィンも簡単には上達出来ないからこそ面白いといえる。アマチュアウィンドサーファーの普段の職業であるが、道具を使ったスポーツであるせいか、一般に私のような事務職は少なく技術系の人が多い。私の知る限り圧倒的に多いのはシステムエンジニア等コンピューターの技術者である。医療系も結構多く、知る人ぞ知るであるが当法人理事長もウィンドサーファーの一人である。日曜日に江ノ島海岸を見渡せば、普段とは違うその雄姿を拝む事が出来るかもしれない。その他、毛色が変わったところでは、今を時めく六本木ヒルズにオフィスを構える外資系有名投資銀行の幹部や、片や、型枠大工の親方などがいる。二人とも私の親しい友人であり、私に比べると一回り以上若い。六本木ヒルズ氏は銀行の幹部のくせして茶髪であり、正に毛色が変わっている。親方の方は髪がない。つまり、スキンヘッドなのである。陸の上では到底接点のありえないこうした人種が海ではみな親しい仲間である。海の上では常に命の危険と隣り合わせという気持ちがあっただけみんな仲が良い。

Try it.

ウィンドサーフィンを始めたいと思う人は先ず泳ぎを覚える必要がある。ダイビングでも同様であるが「泳げなくても出来ます」という甘言に乗せられてはいけない。最近は道具と指導方法の進歩が著しく、男女とも50才台から始めても遅くはない。技量が同じであれば年長者ほど尊敬される世界である。

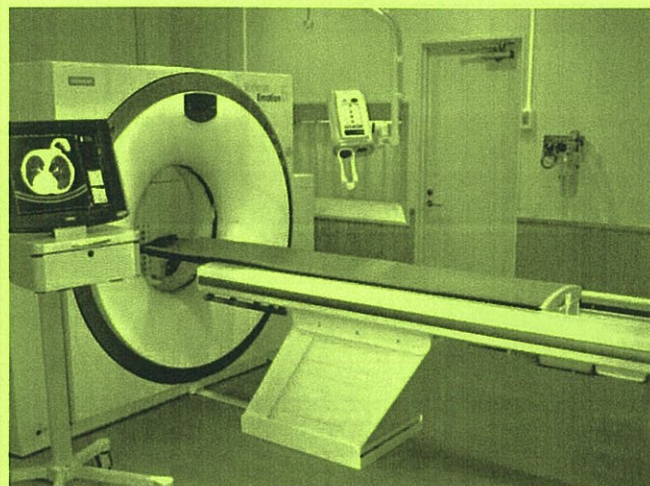
Try it ウィンドサーフィンを始めたあなたはきっと二つの人生を手に入れることが出来る。



〈2004.3.13 南葉山にて〉

狭山病院、マルチスライスCT導入

コメディカル部副部長・放射線室長 間山 金太郎



4月より狭山病院でシーメンス社製6列マルチスライスCT(Emotion 6)が稼動しています。従来、さやま総合クリニックで行っていたCTアンギオや3DCTなど高精度な検査が病院で可能になるとともに、以前のCT装置と比べ、劇的に検査時間が短縮されました。救急および重症患者さん中心の当院において高度で負担の少ないCT検査環境が整いました。

～負うた子に教えられ～

放送大学 卒業生に聞く 編集部

本部総務課の尾崎さんが、晴れて通信制の「放送大学教養学部人間の探求専攻」科を卒業されましたのでインタビューしたお話を要約します。

Q：今までで一番思い出に残っているのはどんなことですか？

A：勉強を始めた頃は娘がまだ甘ったれの小学校3年生でしたので、寝かしつけて教科書を開くと何故か起き出し「本を読んで～」とせがまれました。あれから10年、英語の試験を3回も落第してなかなか卒業出来ない私に、英語の文法を教えてくれたのは今春、同時に高校を卒業した娘でした。家族と友人の応援が一番思い出深くうれしかったことです。

Q：勉強のコツがあれば教えてください。

A：ピンチは最大のチャンスです！

早く単位を取得しようと焦って8科目を抱えたとき、中途半端な勉強で試験は4つ落ちました。再試験が可能ですので

来学期は一度に12科目も合格できる!？「ピンチはチャンス」と考えました。また、学習内容が解らなくてもとりあえず前に進み全体を把握するというコツは実は理事長よりのご伝授です。そして、難関をクリアしたら自分へご褒美を出します。

今、頑張っているあなたへ、これから何かと挑戦しようとするあなたへも、心から応援のエールを送ります!! 以上、仕事を中心に育児、家庭、そして大学と奮闘した10年をお伝えしました。



さやま総合クリニック

ヘルシーコンサート

■各回とも満員、大好評でした。

- ・ 1/8 ヘルシーソロコンサート『子供の世界』 ピアノ：鈴木まりえ
☆シューマン：子供の情景 他
- ・ 1/15 ヘルシージョイナス 『今日は皆様が演奏家』～体験！チェロ～ 指導：清野佳子 ピアノ：近藤昇
- ・ 1/22 ヘルシーデュオコンサート『ピアノ連弾名曲選』 ピアノ：片桐みどり、鈴木まりえ
☆ブラームス：ハンガリー舞曲 他
- ・ 2/12 ヘルシーソロコンサート『音楽の宝石箱Ⅲ』 ピアノ：片桐みどり
☆グリーグ：ホルベアの時代 叙情小曲集 他
- ・ 2/19 ヘルシー公開オーディション『公開オーディション』
- ・ 2/26 ヘルシーデュオコンサート『弦に寄す～いにしえ人の思い遥か～』 ヴィオラ：岩間俊也

※ 3月はコンサートは開催いたしておりません。

★トピックス

【川崎幸病院】

- 1月18日 川崎市住宅供給公社にて、石井理事長/小林理事(事務部長)/和田氏(竹中工務店)にて新病院のプレゼンテーションを実施。同月27日、選定委員会にて優先交渉権者として選定を受ける。(詳細は前号参照)
- 1月21日 院内勉強会『当院に於けるクリティカルパスの現状と展望』
講師：外科副部長/後藤学・看護副部長/菊池光子 参加者65名
- 2月1日 DPC導入影響評価の為の調査協力病院認定
- 2月4日 ささえあい医療人権センターCOML辻本理事長講演『今、患者が望む医療とは』川崎市産業振興会館にて開催 参加者74名
- 2月28日 第1回DPC勉強会 講師：三菱ウェルファーマ/谷澤氏(第2回4/21予定)
- 3月16日 登録医勉強会『C型肝炎の診断と治療・C型肝炎ウィルス発見から征圧へ』
講師：消化器肝臓内科部長/田中武
- 3月 ・シネアンギオ装置新型機入れ換え 4/1市地域医療課より使用許可
・4月より個人情報保護法施行に先だち勉強会を開催。全職員を対象とする為、同様の内容にて9回開催。多くの質問が寄せられた。法人顧問弁護士と相談の上Q&Aを作成し後日配付予定。 講師：医療安全管理課長/今村壽彦
- 定例救急隊勉強会開催(市内、鶴見の救急隊員が参加されました)
1月15日 『明日から使えるBLS/ACLS』(講師：内科医長/向原圭)
2月21・28日 『感染症について』(講師：検査課長/佐藤政延)
3月26日 『明日から使えるBLS/ACLS PartⅡ』(講師：内科医長/向原圭)

【狭山病院】

- 1月21日 新年会 参加者195名
- 2月1日 病院・クリニック駐車場料金変更
- 2月8日 DPC導入影響評価の為の調査協力病院認定

- 2月14日 狭山市消防本部救急救命士気管挿管病院実習 1名終了
- 3月 1日 本館5階緩和ケアユニット開棟
- 3月 4日 CT・MRI入れ替え工事開始
- 院内勉強会
 - ・ 1月25日 看護部医療事故報告会
 - ・ 2月26日 コメディカル部発表会(各部署より10題発表あり)
 - ・ 3月18日 勉強会『医療をとりまく個人情報の取り扱いについて』参加者75名/院外40名
 - ・ 3月29日・30日 勉強会『保険診療②』 参加者179名
- 公開カンファレンス
 - ・ 1月28日 胸部X線撮影の基礎(講師:放射線室長/間山金太郎) 参加者31名
 - ・ 2月 4日 脳卒中後のリハビリテーション(講師:リハビリテーション室長/高杉栄) 参加者21名
 - ・ 2月25日 胃癌診療ガイドラインについて(講師:副院長/河村正敏) 参加者24名
 - ・ 3月11日 PEIT勉強会(講師:甲状腺代謝部長/小野田教孝) 参加者40名
 - ・ 3月25日 ICUにおける呼吸管理(講師:麻酔科部長/坂本三樹) 参加者25名

【川崎胃腸病院】

- 1月29日 健康講座『最新の内視鏡治療について』
- 3月26日 健康講座『ガンについて～シリーズ①』

【川崎幸クリニック】

- 公開講座
 - ・ 第71回 1/28『CT検査、MRI検査で何が分かるの?』(講師:放射線科長/柚木園隆) 参加15名
 - ・ 第72回 2/14『元気に暮らす住まいの工夫』(講師:福祉用具レンタルさいわい/寺川浩司氏)
 - ・ 第73回 3/28『認知症(痴呆症)の理解と介護』(講師:川崎幸クリニック院長/杉山孝博) 参加22名
- 気功教室 講師 臨床心理士 稲富正治
 - ・ 1/19,21 参加計21名
 - ・ 2/16,24 参加計17名
 - ・ 3/23,25 参加計14名
- 食事の教室 管理栄養士 清水里子
 - ・ 2/17 「肥満、お正月太りを改善」～減量にチャレンジ2～ 参加9名
 - ・ 3/17 「高血圧予防」～塩分の適量を知る～ 参加13名

【さやま総合クリニック】

- 外来糖尿病教室 ※各回4日で1講座です。
 - ・ 第1回 「糖尿病とは」 1/11 2/ 8 3/ 8
 - ・ 第2回 「合併症と日常の注意点、足の手入れについて、検査について」 1/19 2/16 3/16
 - ・ 第3回 「薬物療法」「運動療法」 1/26 2/23 3/23
 - ・ 第4回 「食事療法」 2/ 2 3/ 2 3/30
- 1/15 つつじ発行『平成17年春号』
- 2/26 第4回健康教室『花粉症』(講師:耳鼻咽喉科/瀧口医師) 主催:患者サービス向上委員会
- 3/24 外来栄養教室『心臓病の方の食事』 主催:栄養室

【さいわい鹿島田クリニック】

- 1月22日 ルリエ新川崎建物1年点検
- 2月 2日 透析室の防災について勉強会 職員26名参加
- 2月 7日 竹内副院長 幸区保健福祉センター主催講演会

『糖尿病について』地域の老人クラブ会員35名参加

- 2月28日 杉山院長講演『葉のはなし』 地域住民26名参加
- 4月11日 『医療法人財団石心会 さいわい鹿島田クリニック』へ名称変更した。

【川崎クリニック】

- 1月23日 全身用骨密度測定装置更新
- 1月23日 全自動透析液溶解装置導入
- 1月29日 地震を想定した避難訓練 35名参加
- 2月19日 透析室の防災について勉強会 職員25名参加

【アルファメディック】

- 3月 8日 川崎市子宮癌(一般)健診登録医療機関に登録された。

【オリーブ】

- 1月19～21日・27～28日・3月3日・7日
体験学習:堀兼小学校、狭山中央中学、入間野中学、三王中学 計114名参加
- 2月 9日 ボランティア受入担当者研修会(社会福祉協議会主催)にてオリーブの職員が事例発表
- 3月 5日 第26回社会福祉大会へ参加
- 3月27日 オリーブ5周年記念式典

【在宅部門】

- 2月14日 ジャノメ鹿島田ビルよりルリエ新川崎6階へ移転(さいわい鹿島田クリニックと同じビル)
移転先:〒212-0027 川崎市幸区新塚越201番地 ルリエ新川崎6階
移転事業所:新川崎在宅介護支援センター・新川崎居宅介護支援事業所・さいわい訪問看護ステーション鹿島田
・さいわいヘルパーステーション・福祉用具レンタルさいわい
- 2月14日 新川崎在宅介護支援センターと幸クリニック共催で健康教室を開催
『元気に暮らす住まいの工夫』 講師:福祉用具レンタルさいわい 寺川浩司氏